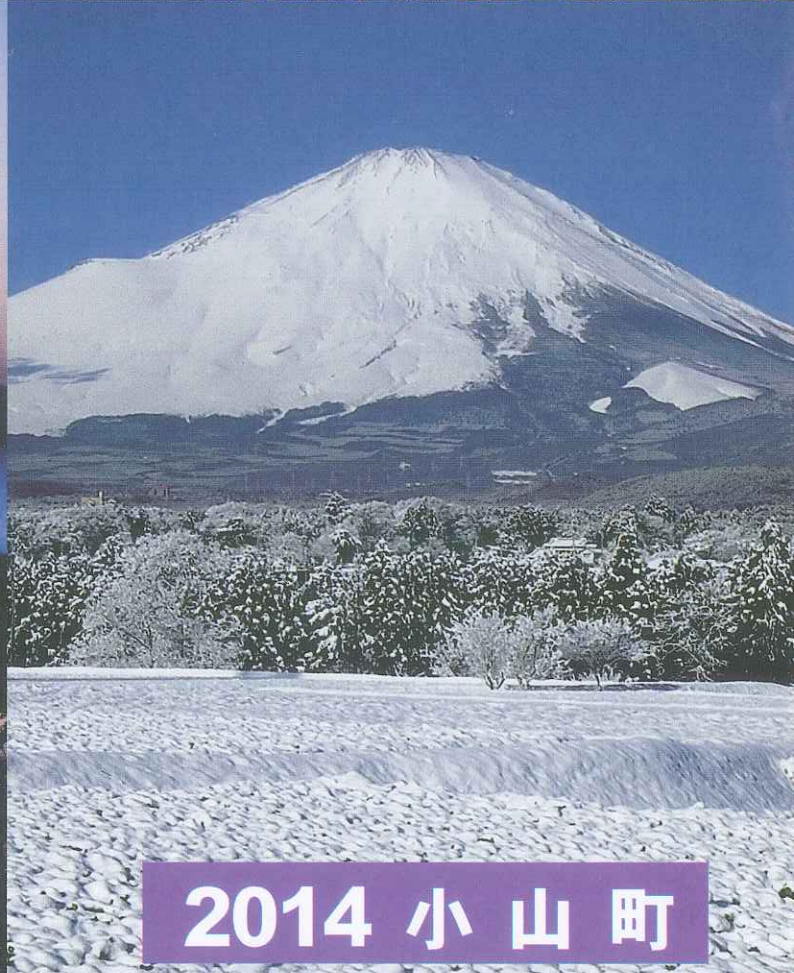
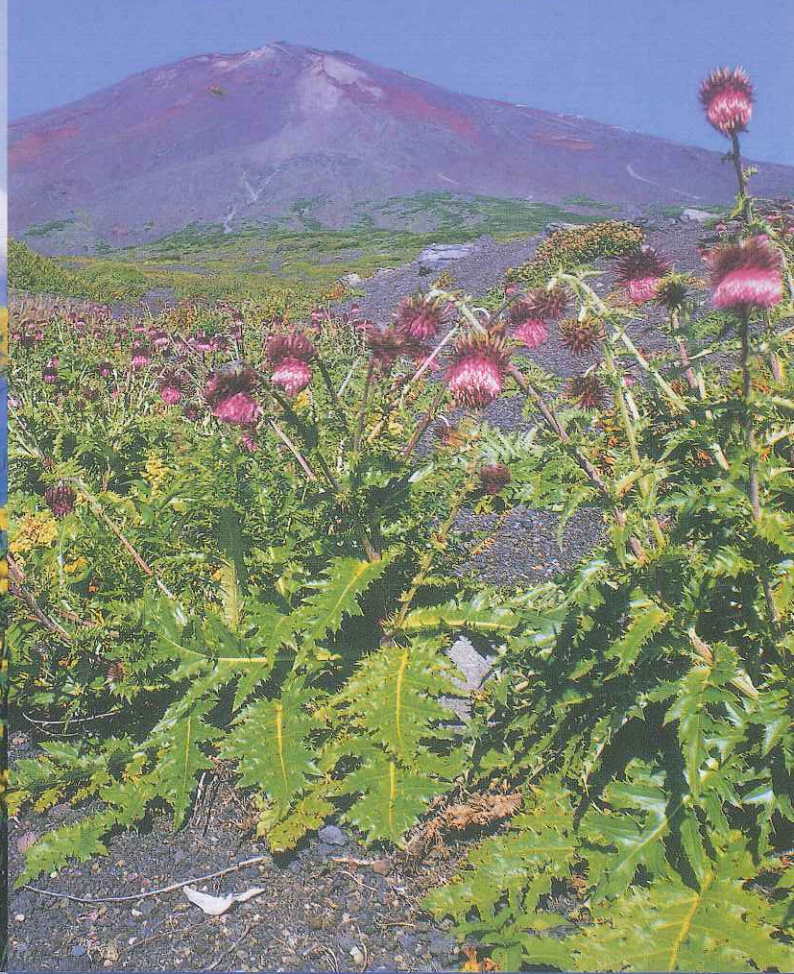


富士のあるまち



2014 小山町



■ ■ ■ も く じ ■ ■ ■

[1]	町のあゆみ	1
[2]	町の位置 <small>い ち</small>	2
[3]	町のようす (観光 <small>かんこう</small> あんない)	4
[4]	町の人口 (人口のうつりかわり)	6
[5]	産業 <small>さんぎょう</small> (仕事の種類 <small>しゅるい</small> 、農業、畜産、林業、工業、商業、よその町へ仕事に 行く人、小山町へ仕事にくる人)	7
[6]	観光、文化財 <small>かんこう ぶんかざい</small> (富士山 <small>ふじさん</small> 、金時山 <small>きんときやま</small> 、足柄峠 <small>あしがらとうげ</small> 、富士スピードウェイ <small>ふじれいえん</small> 、富士霊園 <small>おんせん</small> 、道の駅、 温泉、イベント、文化財)	11
[7]	治安 (警察 <small>ちあん けいさつ</small> 、消防 <small>しょうぼう</small>)	13
[8]	保健衛生 <small>ほけんえいせい</small> (保健センター <small>よぼうせつしゆ</small> 、予防接種・健康診断、こども医療費助成 <small>こうがい</small> 、 ごみ <small>ごみ</small> 、し尿処理 <small>しよしよりによるしり</small>)	15
[9]	くらしをとりまくもの (用途地域 <small>ようと ちいき</small> 、道路、電気、住宅 <small>じゅうたく</small> 、水道、下水道、バス、鉄道、郵便、 自動車)	16
[10]	教育・文化 (園児 <small>えんじ</small> ・児童 <small>じどう</small> ・生徒数 <small>せいとすう</small> 、生涯学習)	19
[11]	福祉 (健康福祉会館 <small>ふくし けんこう</small> 、福祉の施設 <small>きふくぎ</small> 、社会福祉協議会)	21
[12]	町のしくみと仕事	22
[13]	予算 <small>よさん</small>	23
	町のしくみ (役場の体系 <small>たいけい</small>)	26

富士のあるまち

この“富士のあるまち”には、みなさんの住んでいる町のことが
かいてあります。

みなさんの知らなかった町のことがたくさん出てくると思います。

「小山町」のことをたくさん知ってください。

平成26年4月

小 山 町

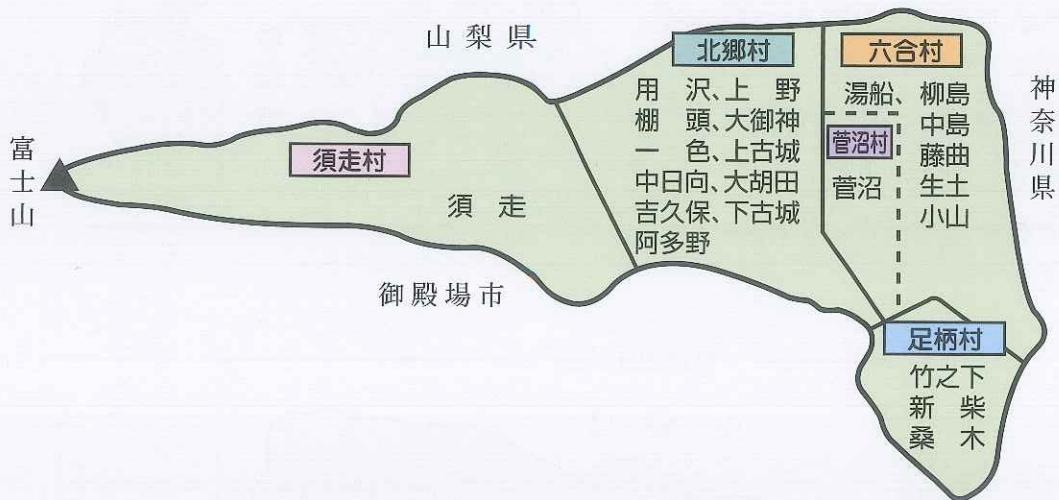
1 町のあゆみ ▶▶▶▶

小山町には、一体いつごろから人が住んでいたのでしょうか？ 現在までの発掘調査によると、およそ7,000年前の縄文時代早期にさかのぼります。狩りをしたり、木の実をとったりして生活していました。町には、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代の遺跡がみつかっていて、人々が住んでいたことがわかります。

また、古くから西と東を結ぶとても重要な道が足柄峠を越えていました。古代、この地は駿河国鮎沢庄御厨郷と呼ばれていました。中世になると竹之下の合戦があったり、足柄城などが築かれたり、歴史上有名なできごとがありました。江戸時代には、多くの村々が小田原藩領に属していました。宝永4(1707)年の富士山の噴火によって小山町域はとても大きな被害を受け、復興にむけて努力しました。

明治22(1889)年に六合村、菅沼村、足柄村、北郷村、須走村ができました。その後、大正元(1912)年8月1日に六合村と菅沼村がいっしょになって、「小山町」ができました。昭和30(1955)年4月1日に足柄村と、昭和31(1956)年8月1日に北郷村と、同じ年の9月30日に須走村がいっしょになって、今の小山町になりました。

平成24(2012)年には、町制施行100周年を迎えました。



メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 町の位置 ▶▶▶▶

●広 さ●

小山町は、静岡県か な がわ けんの北東にあって神奈川県・山梨県やまなしととなりあっています。富士山・丹沢山系たんざわさんけい・金時山きんときやまなどに囲まれ、町の広さは、136.13平方キロメートルです。

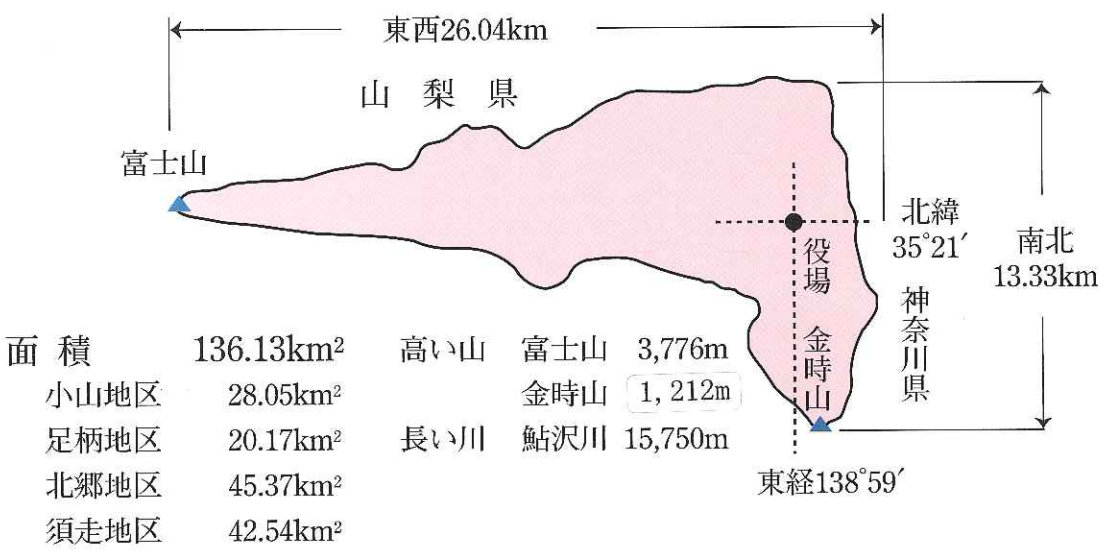
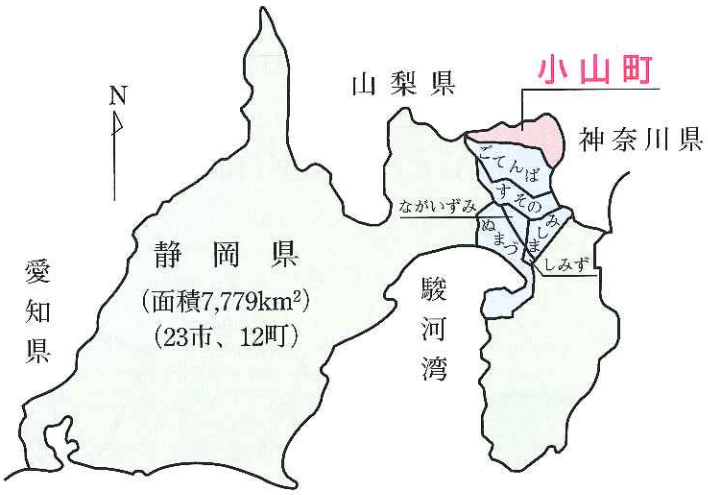
●高 さ●

海拔かいぼつ（海からの高さ）をみると、一番高いところはもちろん富士山ちようじようの頂上で、3,776メートルです。一番低いところは神奈川県との境にある鮎沢橋あゆざわばしのところで225メートルです。

●人の住んでいるところ●

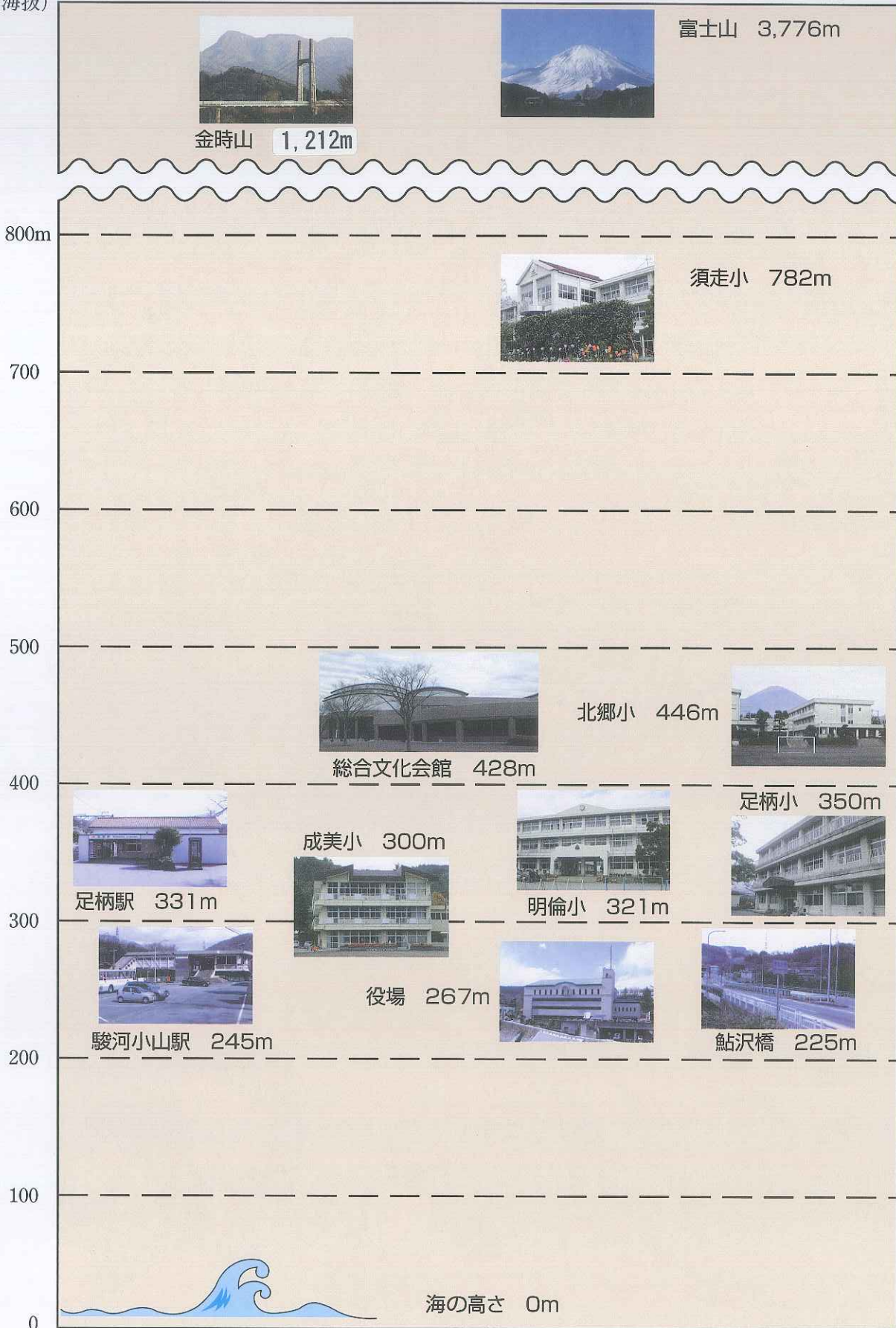
小山町めんせきは面積のほとんどが山で、人の住んでいるところは1割ぐらいいです。人が多く住んでいるところは、海拔240メートルから800メートルの間です。

県道沼津小山線けんどうぬまづ、国道246号こくどう、国道138号のまわりに、たくさんの人たちが、生活しています。



●高さくらべ●

(海拔)



3 町のようす ▶▶▶▶

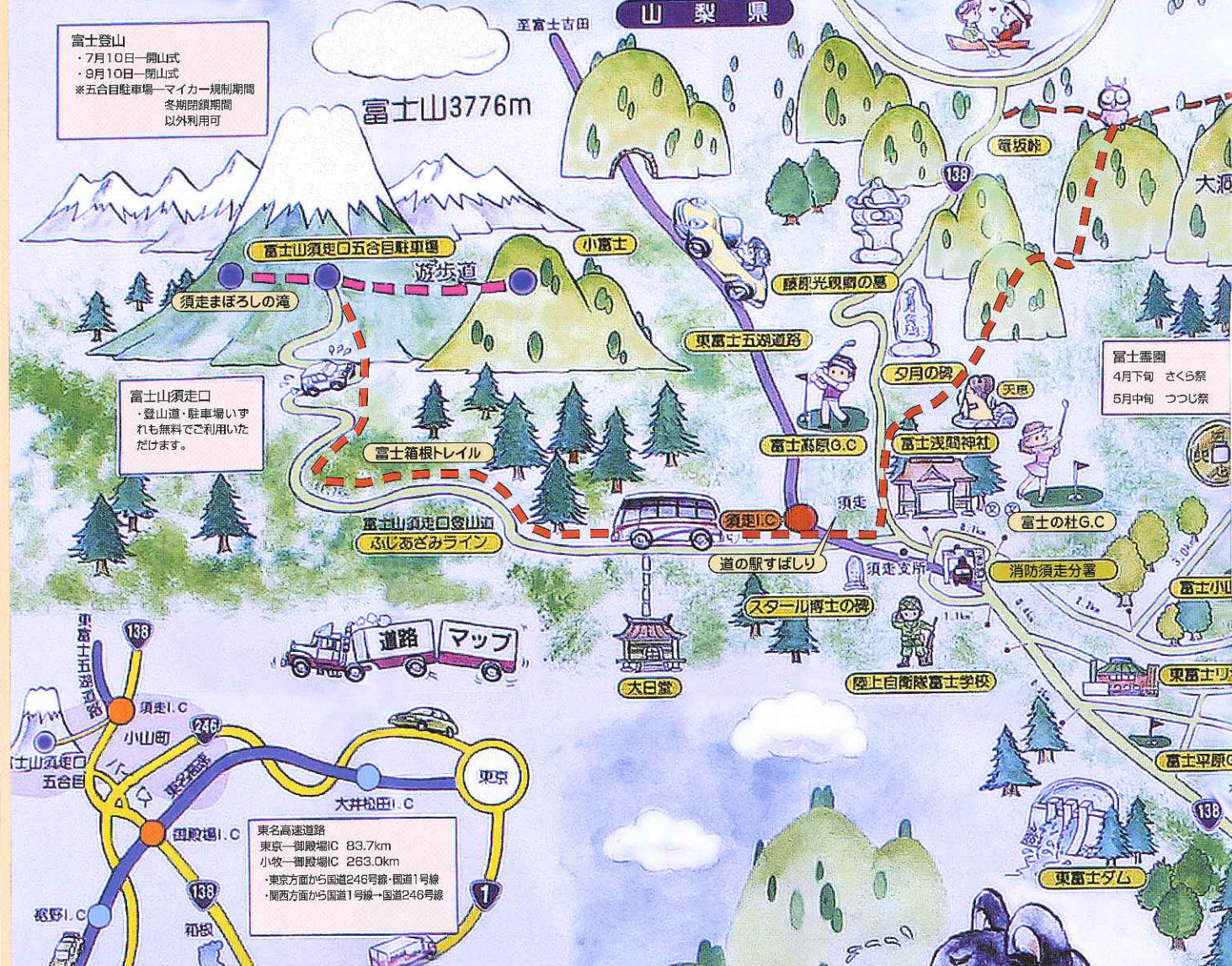
中央高速

富士登山
 ・7月10日一開山式
 ・9月10日一閉山式
 ※五合目駐車場—マイカー規制期間
 冬期閉鎖期間
 以外利用可

富士山3776m

山梨県

至富士吉田



富士山須走口
 ・登山道・駐車場いす
 れも無料でご利用いた
 だけます。

東名高速道路
 東京—御殿場IC 83.7km
 小牧—御殿場IC 263.0km
 ・東京方面から国道246号線・国道1号線
 ・関西方面から国道1号線→国道246号線



みんなのおやまマップ

OYAMA SIGHT-SEEING MAP



神奈川県

聖天堂大祭
毎年4月20日開催

初日の出記念メダル
元旦の初日の出に
合わせ記念メダルが
無料配布されます。

* は区間距離の印です。

至芦の湖・箱根・小田原

4 町の人口 ▶▶▶▶

●人口●

町の人口は平成26年3月1日現在、男10,211人・女9,638人で、合わせて19,849人です。世帯数は、7,537世帯です。

昔の人口とくらべるとつぎのようになります。(各年10月1日現在:国勢調査)

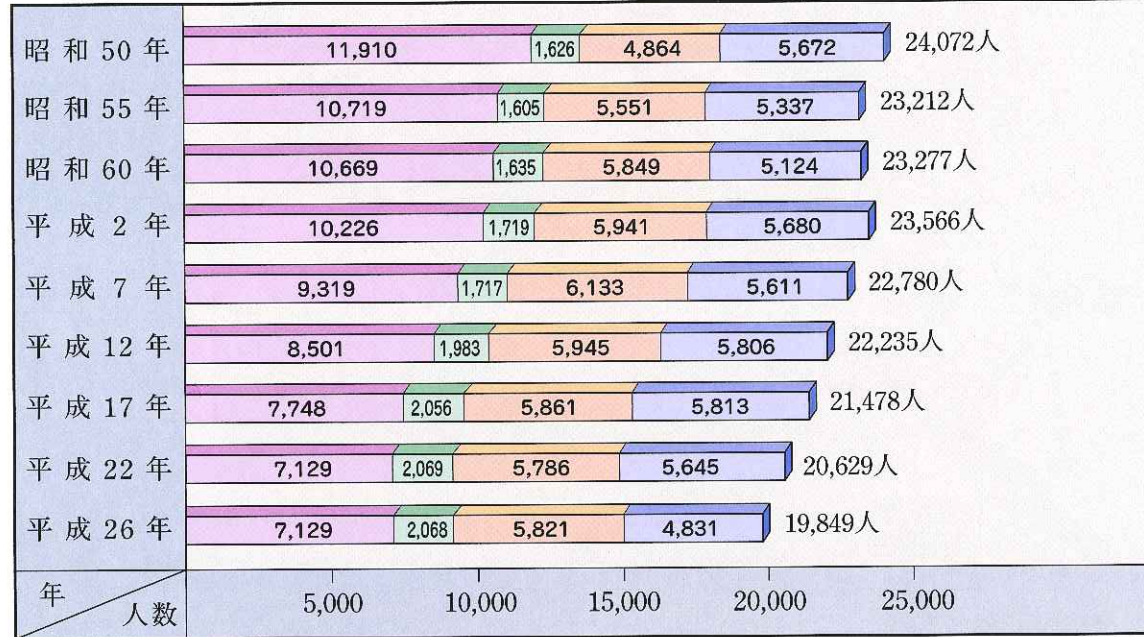
人口のうつりかわり

男性= ■ 女性= ■



地区人口のうつりかわり

小山= ■ 足柄= ■ 北郷= ■ 須走= ■



※いずれも平成26年は3月1日現在。平成24年7月に住民基本台帳法が改正され、外国人を含むようになりました。

5

産

業

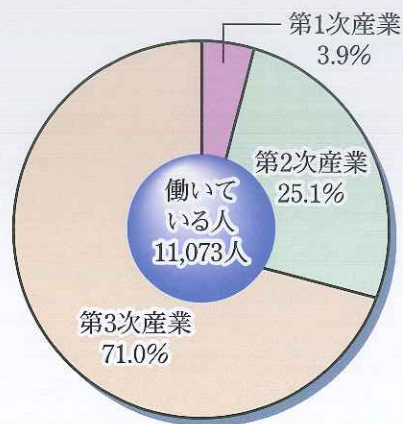
町の人びとの仕事

町に住む人の仕事には、農家の仕事、工場の仕事、商店の仕事など、いろいろな仕事があります。

町内に住む人で働いている人は、およそ11,073人です。

どんな仕事をしているのかを仕事の種類によって3つに分けてみると、つぎのようになります。

(平成22年国勢調査)

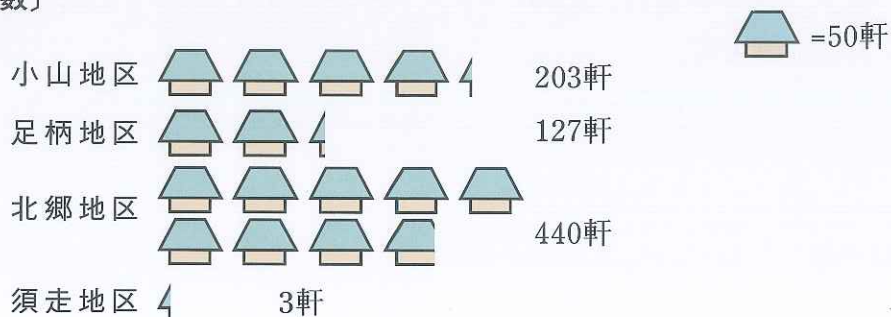


産業別	人数	1,000	2,000	3,000 (人)
第1次産業 432人	農業	402		
	林業	27		
	漁業	3		
第2次産業 2,780人	鉱業・採石業・砂利採取業	6		
	建設業	539		
第3次産業 7,861人	製造業		2,235	
	電気・ガス・熱供給・水道業	34		
	運輸業・郵便業・情報通信業	570		
	卸売業・小売業	1,196		
	金融業・保険業	140		
	不動産業・物品賃貸業	85		
	教育・学習支援業	862		
	医療・福祉	796		
	サービス業		2,347	
	公務員		1,831	

●農 業● 農家の仕事

町では、米、豆、野菜、花など、いろいろな農産物が生産されています。町内で農業を行っている家は、773軒ありますが、このうちほとんどの人が、「ほかに仕事を持っているが、農業もしている」という人です。農業だけをしている家は23軒です。(2010年農業センサス)

[農家の数]



町にある田んぼ、畑・樹園地は、つぎのとおりです。(販売農家)

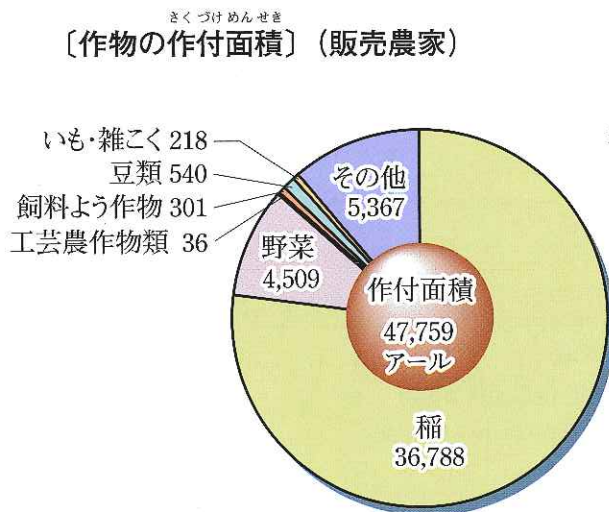
- ・田んぼ 40,719アール
- ・畑 6,001アール
- ・樹園地 1,184アール

[田畑などの分布]

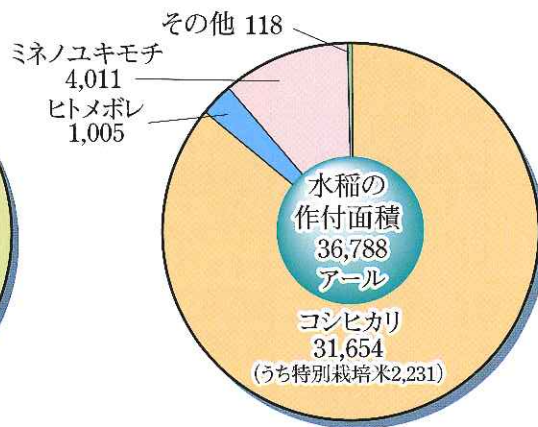
単位=アール

地区	田んぼ	畑	樹園地	計
小山地区	4,640	988	360	5,988
足柄地区	3,660	1,356	259	5,275
北郷地区	32,419	3,657	565	36,641
須走地区	0	0	0	0
計	40,719	6,001	1,184	47,904

[作物の作付面積] (販売農家)

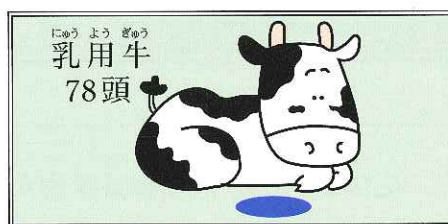


[水稻の作付面積] (全農家)



●畜産●

[飼育している牛の数]



(平成25年水稻作付実績から)

●林業●

木を育てる仕事

町の森林面積は9,182ヘクタールです。このうち3,109ヘクタールが国有林、1,786ヘクタールが公有林、4,287ヘクタールが私有林です。(平成25年度版静岡県森林・林業統計要覧)

●工 業●

会社・工場

町には機械、電気機械、金属、木工などの製品を作っている事業所（工場）があります。事業所（従業員4人以上の製造業）の数は50で、ここで仕事をしている人は、2,406人です。

製造品出荷額は1,401億1,523円です。（平成24年経済センサスー活動調査）

〔主な事業所の数と従業者数〕

事業所  =1	従業者  =100人
5  5	金属製品      403
3  3	電気機械  64
6  6	輸送機械  82
4  4	生産用機械  57
5  5	家具・装備品    213
5  5	プラスチック製品    225
4  4	食料品     364

〔主な事業所の出荷額〕

























・ 金属製品	143億3,088万円	・ 生産用機械	7億2,898万円
・ 電気機械	5億5,389万円	・ 家具・装備品	38億7,981万円
・ 輸送機械	8億8,713万円	・ プラスチック製品	88億973万円
・ 食料品	177億6,147万円		

●商 業●

いろいろなお店

町内には、食料品を売っている店、衣服や身の回りのものを売っている店、機械器具を売っている店などが全部で149店あります。そして、そこで仕事をしている人は、776人です。1年間の販売額は約394億800万円です。（平成24年経済センサスー活動調査）

〔お店の数と働いている人の数〕

店舗  =10店	従業者  =50人
61  61	飲食料品小売業        325
20  20	一般卸売業     175
11  11	機械器具小売業  45
5  5	織物・衣服・身のまわり品の店  12
49  49	その他の小売業     194

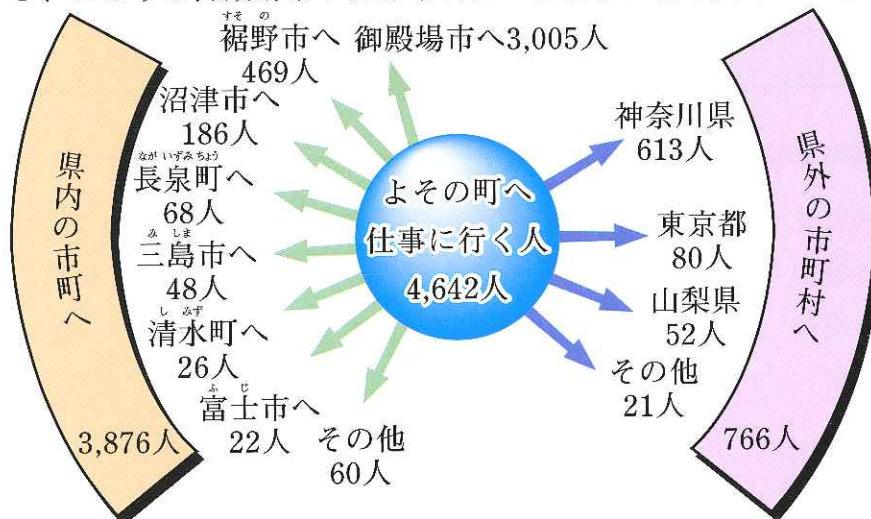
〔お店の販売額〕

・ 飲食料品小売業	48億4,600万円
・ 一般卸売業	73億9,500万円
・ 家具・建具・じゅう器の店	2億5,800万円
・ 織物・衣服・身のまわり品の店	1億3,200万円
・ その他の小売業	56億2,900万円

計 182億6,000万円

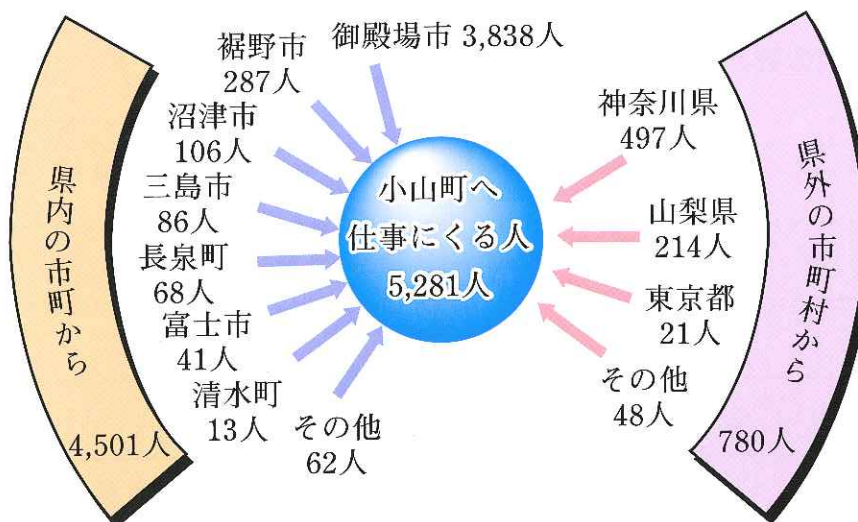
●よその町へ仕事に行く人● (平成22年国勢調査)

小山町から、となりの御殿場市や沼津市などへも仕事に行く人がいます。



●小山町へ仕事にくる人● (平成22年国勢調査)

よその町からも、小山町へ仕事にくる人がたくさんいます。





●観 光●

“富士とみどりと清流のまち”といわれるように、ゆたかな自然にめぐまれ観光地がたくさんあります。その主なものを紹介します。



〔富士山〕 世界に名高いこの山は、海拔3,776メートルです。富士山の登山道は5ヶ所あり、須走口登山道もそのひとつで、夏山シーズンには五合目(海拔2,000メートル)までバスが運行しています。野鳥と高山植物の種類と数の多いことでも有名です。平成25年6月26日に世界文化遺産に登録されました。

〔金時山〕 金太郎が遊んだ山として有名です。箱根外輪山のなかで、もっとも高い山で海拔1,212メートルです。頂上には猪鼻神社や茶店などもあり、ハイキングとして登る人がたくさんいます。



〔足柄峠〕 小山町と神奈川県南足柄市との境にある峠で、海拔759メートルです。この峠はたいへん歴史の古い峠で、足柄城址、聖天堂、関所跡、新羅三郎義光の笛吹き石などがあります。

〔富士スピードウェイ〕 大御神にあるこの施設は、広さ450万平方メートルで世界に誇るレーシング場です。ここで開催されたF1日本グランプリには、世界中から、およそ22万人もの人が集まりました。

〔富士霊園〕 大御神にある、広さ230万平方メートル、花と緑にあふれる、日本一広い公園墓地です。春、秋の彼岸をはじめ、1年を通じてたくさんの方がやってきます。特に、春には「日本さくら名所100選」にも選ばれたおよそ8,000本のサクラが咲きほこります。

〔道の駅〕 国道246号沿いの「ふじおやま」は平成16年11月に、国道138号沿いの「すばしり」は平成23年4月にオープンしました。ドライバーの休憩所として、また小山町の農産物やお土産を買う人たちで、とてもにぎわっています。

〔温泉〕 町営の温泉は、町民いこいの家「あしがら温泉」があります。町民ばかりでなく、近隣の市町村から多くの方が訪れます。

●イベント●

〔富士山金太郎まつり〕 小山町は金太郎誕生の地です。力強く元気な子どもに育つことを願って、毎年5月3日に子ども会対抗の「子どもすもう大会・つなひき大会」

などの富士山金太郎春まつりが行われます。また、夏には、富士山金太郎夏まつりが行われます。

〔足柄峠笛まつり〕 足柄峠につたわる“吹笙”の故事にちなんで、毎年9月の第2日曜日に行われます。笛の音が足柄峠にひびきます。

〔その他のイベント〕 富士山開山式・閉山式（7月10日・9月10日、須走登山道）、富士山一斉清掃、金時山・足柄峠DE初日の出（1月1日、金時山・足柄峠）、いろいろな自転車レース大会やマラソン大会。

●文化財●

昭和58年に足柄で発掘調査が行われた横山遺跡をはじめ、昔から伝わっているものや、お城の跡、古い建物など、大切に残しておきたいものが町内にはたくさんあります。このほかにも、小山町独自の歴史的価値の高いものが数多くあり、こういうものを「文化財」といいます。ここでは小山町の主な文化財を簡単に紹介します。

〔国指定文化財〕

- ・特別名勝=富士山
- ・史跡=富士山(富士浅間神社・須走口登拝道)



富士浅間神社

〔国登録文化財〕

- ・国の登録有形文化財=豊門会館(旧和田豊治家住宅) 和館、洋館
豊門公園和田君遺徳碑 豊門公園正門 豊門公園西洋館(旧豊門青年学校)
豊門公園噴水泉 森村橋 松村家住宅主屋

〔静岡県指定文化財〕

- ・天然記念物=富士浅間神社のハルニレ 大胡田天神社のイチョウ
上野のトチノキ 柳島八幡神社の二本スギ
- ・彫刻=宝鏡寺の木造地藏菩薩坐像

〔小山町指定文化財〕

- ・天然記念物=湯船八幡神社夫婦スギ 上野神明社のツクバネガシ
富士浅間神社のエゾヤマザクラ 富士浅間神社の根上りモミ
棚頭産神社のスギ 用沢八幡宮の三本スギ
- ・建造物=甘露寺宝篋印塔 嘉慶銘宝篋印塔 栗の木沢の唯念名号碑
栗の木沢の題目碑 富士浅間神社社殿
- ・史跡=乗光寺大森六代之墓
- ・民俗=竹之下太鼓
- ・彫刻=坂下区十王堂地藏菩薩坐像 坂下区十王堂石仏
- ・絵画=坂下区十王堂十王図
- ・書跡、典籍、古文書=坂下区十王堂木食観正宝号軸

町のみなさんが安心してくらせるようにする仕事のことを、「治安の仕事」といいます。治安の仕事は、交通事故をなくす仕事、犯罪がおきないようにする仕事、火災がおきないようにする仕事などがあります。

● 警 察 ●

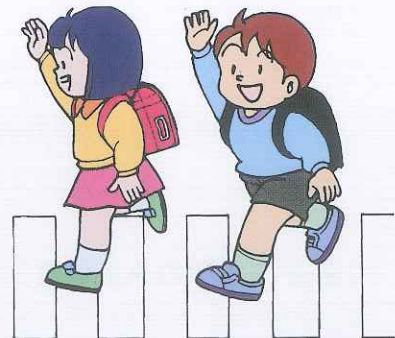
小山町は、御殿場警察署の管かつにあります。町内には、小山交番、須走交番と、菅沼駐在所、北郷駐在所、足柄駐在所があります。交番・駐在所は、みなさんの身近なところにあり、事件や事故の対応、パトロールのほか、地理案内、落し物の受理、各戸を訪問する巡回連絡などで、みなさんの安全をまもっています。

〔交通事故〕

平成25年中に町内でおきた人身事故は86件、物損事故は434件でした。そして人身事故でなくなった人は2人、ケガをした人は131人でした。

〔犯 罪〕

平成25年中に町内でおきた犯罪は101件でした。内わけは凶悪犯が3件、窃盗犯が71件、粗暴犯が2件、知能犯が3件、風俗犯が0件、その他が22件でした。

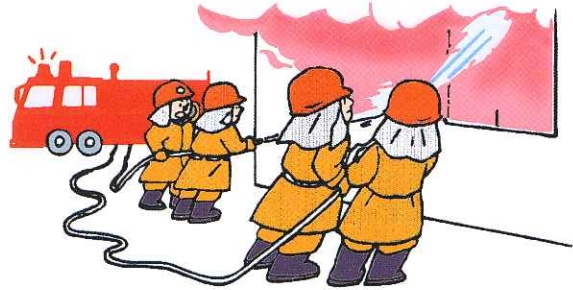


メモ

●消 防●

消防の仕事はとなりの御殿場市といっしょに行っています。また小山町には、小山消防署、須走分署ぶんしよがあり、近くの消防署から出動しますが、とくしゅ消防車しやは御殿場消防署から火災の現場へ行きます。

消防署員	42人
消防車	3台
救急車 <small>きゅうきゆう</small>	2台
救助工作車 <small>きゅうじょこうさく</small>	1台
指令車 <small>しれい</small> や作業車 <small>さぎよう</small> など	3台



〔消防団〕

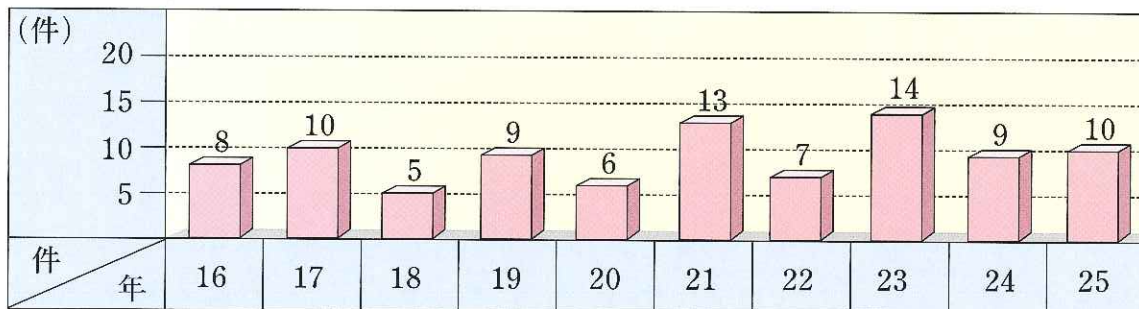
消防団は男性と女性の消防団員が、会社で働きながら、町の火災予防や、火災の発生や台風たいふうにそなえています。

消防団数	7個分団	消防用ポンプ車	7台	消火栓 <small>しょうかせん</small>	639か所
消防団員数	188人	可搬ポンプ <small>かはん</small>	8台	防火水槽 <small>ぼうかすいそう</small>	189か所

〔火 災〕

平成25年中に町内でおきた火災は、全部で10件（このうち建物火災は2件）でした。これによる損害額そんがいは535万2,000円でした。

〔過去10年間の火災件数〕



〔救急車の出動しゅうきゆう〕

内 容	交通事故	急 病	負傷 <small>ふしやう</small> など	運動でのケガ	そ の 他	合 計
出動回数	73	464	129	1	109	776

きれいな町の中で、みなさんが健康で暮らしていけるようにすることを「保健衛生」の仕事といいます。

●保健センター●

保健センターは健康福祉会館の中にあり、平成12年4月にできました。ここには、保健師、看護師、栄養士などがいて、健康診査や健康教室を行ったり、みなさんの家をまわって健康相談をしたりしています。赤ちゃんからお年寄りまで、みなさんの健康づくりの中心として活動しています。

●予防接種・健康診断●

みなさんが病気にかからないように、ワクチンを注射したり、赤ちゃんがじょうぶに育っているか、お医者さんにみてもらったり、健康診断などを行ったりしています。

●こどもの医療費助成●

みなさんが中学校を卒業するまでの間、病院でお医者さんにみてもらったり、薬をもらったりしたときにかかるお金を、町が負担します。

●公害●

町がよごれ、みなさんが住みにくくならないように、空気や水のよごれ、うるさい音が出ないか、いやなおいがでないかなどを調べています。

●ごみ●

毎日の生活の中からたくさんのごみができます。平成24年度中におよそ7,619トン（うち1,105トンは資源としてリサイクルされています）のごみが町の中から出ます。

●し尿処理●

家庭から出るし尿（大便・小便）をそのままにしておくと、町じゅうに臭いにおいが広まって、大変困ります。そこで以前は埋立処理していたし尿を、御殿場市と小山町が共同で処理しようと、昭和51年4月に、御殿場市・小山町広域行政組合で衛生センターをつくり、そこで処理をするようになりました。この施設の1日の処理能力は、140キロリットルです。平成24年度中に、町から出た生し尿445キロリットル、単独浄化槽汚泥4,619キロリットル、合併浄化槽汚泥4,962キロリットル、計10,026キロリットルを処理しました。

●用途地域●

みなさんが生活していくためには、家、田んぼ、工場、商店など、いろいろなものが^{ひつよう}必要です。しかし、家のまわりに大きな音をだす工場などができると^{こま}困ります。また家の前に高い家ができたりすると、日があたらなくなるなど困ったことが出てきます。

こうしたことから、小山町が^{はってん}きまりよく発展していくためと、町のみなさんが、^{たが}お互いにめいわくにならずに楽しく暮らしていくために、「用途地域」というのが決まっています。

この用途地域は、「住宅にするところ」、「工業地にするところ」など9つに分かれていて、それぞれ建てられる建物の大きさなどが決められています。

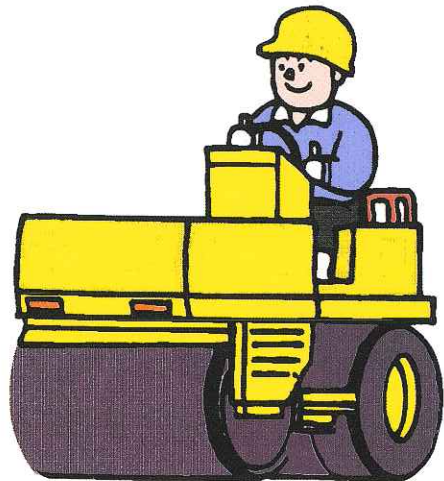
●道 路●

町で^{かんり}管理している道路は、^{ぜんぶ}全部で1,486^{ろせん}路線あります。この道路を全部つなげるとおおよそ450キロメートルになります。この長さは、駿河小山^{でんしゃ}駅から電車に乗ると、^{きょうと}京都駅を少し過ぎたところまで行くほどの長さです。また、道路の面積はおおよそ1,700平方キロメートルです。そして、^{ほそら}町道のおよそ47.2%が舗装されています。

このほか町には、国道が246号と138号の2路線、県道が、沼津小山線など8路線あります。

また町には、^{とうめいこうそくどうろ}東名高速道路（昭和44年^{かいつう}開通）が上下7車線おおよそ8.1キロメートル走っています。

平成32年には新東名高速道路が開通し、北郷地区^{おおみか}の大御神にスマートインターチェンジとパーキングエリアが完成する予定です。



●電 気●

町には須川、菅沼、生土の3つの^{すいりょく}水力発電所があり、平成24年度の1年間に合計でおおよそ4,000万キロワット時の電気を作っていて、これは1年間におおよそ12,000軒の家で使う量になります。また上野^{しんふじへんでんしよ}には新富士変電所があり、発電所で作られた大きな電気を小さくして、工場や学校、家庭などに送っています。

●住 宅●

町の住宅の数をみるとつぎのようになっています。



自分の家	4,503 世帯
公営住宅	492 世帯
会社の住宅	617 世帯
他の人の住宅	713 世帯
間借り、寄宿舍など	32 世帯

(平成22年国勢調査)

●水 道●

水道には、町営の水道と民営の水道があります。

町営の水道を使っている人は、19,283人で、7,136軒の家や工場に、年間およそ348万立方メートルの水を供給しています。これは1人が1日におよそ495リットルの水を使っていることとなります。10トンの大型トラック1杯分（10立方メートル）あたり363円ぐらいで、全国でも2番目に安い料金です。

町にはおいしくて安いたくさんの水がありますが、大切に使いたいものです。

●下 水 道●

町には、須走浄化センターがあります。台所や風呂、洗濯や水洗トイレなどで使った後の生活排水を、そのまま川に流すと、水質を悪くし、悪臭を発生させ、自然の環境を破壊してしまいます。そうした汚水を集めて処理し、きれいな水にして自然にもどすのが下水道です。

●バ ス●

現在、町内を運行する路線バスは富士急行により運行されています。町内を走る路線は10路線で、平日は往路47本・復路46本、土・日曜日・祝日は往路48本、復路47本が運行されています。このバスを利用している人は、1年間およそ41万人です。

また、東名高速道路では、東京駅、静岡駅、浜松駅、名古屋駅へ行く東名ハイウェイバス（JR東海バスとJRバス関東・JRバステック）が、1日上下あわせて平日は46本、週末ゴールデンウィーク、お盆、年末年始には51本が運行されています。さらに小田急箱根高速バスが、1日上下あわせて平日は69本（金曜日は70本）、土・日曜日・祝日は71本が運行されています。町には東名小山と東名足柄の2つのバス停があります。

●鉄 道●

町にはJR東海の御殿場線が、8.9キロメートル通っていて、駿河小山駅と足柄駅の2つの駅があります。

平成24年度の1年間に、駿河小山駅で電車に乗った人数は17万3,082人（1日の平均は474人）、足柄駅で電車に乗った人数は17万7,805人（1日の平均は487人）です。



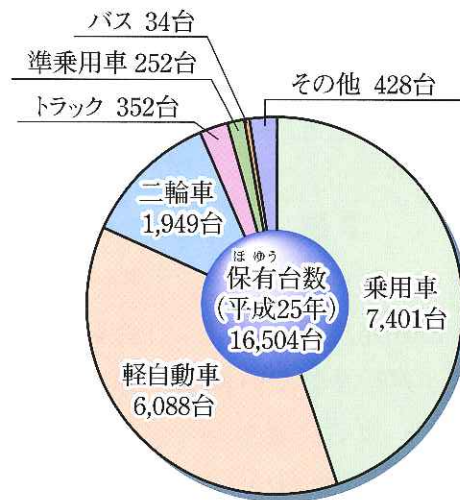
●郵 便●

町には郵便局が6つと、ポストが46個あります。御殿場市・小山町管内で、平成24年中にみなさんが出した郵便は1日平均20,987通、配られた郵便は、1日平均8,745通でした。また、出した小包は1日平均199個、配られた小包は1日平均161個でした。

郵便のうち、年賀はがき（平成25年1月）は、みなさんが出したはがきがおよそ217万9,000通、配られたはがきがおよそ41万3,000通ありました。

●自 動 車●

町内には、平成25年4月1日現在、乗用車7,401台、軽自動車6,088台、二輪車1,949台、トラック352台、準乗用車（ライトバンなど）252台、バス34台などの自動車があります。



(平成25年 静岡県自動車保有台数調査)

10 教育・文化 ▶▶▶▶

●学校教育●

町には、中学校3校、小学校5校、幼稚園3園と県立高校が1校あります。

平成26年4月から北郷幼稚園ときたごう保育園が一緒になって「きたごうこども園」となりました。

[園児・児童・生徒の数]

(平成26年2月1日現在)

学 校 名	学級数	園 児・児 童・生 徒 数			教師数	
		男	女	計		
小 学 校	成 美 小 学 校	6	87	70	157	15(3)
	明 倫 小 学 校	8	85	70	155	17(4)
	足 柄 小 学 校	6	44	54	98	13(3)
	北 郷 小 学 校	12	154	154	308	25(6)
	須 走 小 学 校	13	182	133	315	27(7)
	計	45	552	481	1,033	97(23)
中 学 校	小 山 中 学 校	11	132	114	246	22(3)
	北 郷 中 学 校	6	59	94	153	17(3)
	須 走 中 学 校	6	64	60	124	18(5)
	計	23	255	268	523	57(11)
幼 稚 園	駿 河 小 山 幼 稚 園	3	26	30	56	6(2)
	足 柄 幼 稚 園	2	6	19	25	5(1)
	北 郷 幼 稚 園	4	46	39	85	6(1)
	須 走 幼 稚 園	6	71	58	129	12(4)
	計	15	149	146	295	29(8)
合 計		83	956	895	1,851	183(42)

※教師数の()内は、非常勤、特別支援などの先生の数

●保育園●

お父さん、お母さんが仕事をしている家の0才児から5才児までの子どもを預かっています。町内には3つの保育園があります。

平成26年4月から北郷幼稚園ときたごう保育園が一緒になって「きたごうこども園」として開園しています。

(平成26年2月1日現在)

園 名	子ども の 数	保育士 の 数	調理員 の 数
いきど保育園	64	13 (6)	2 (2)
すがぬま保育園	82	16 (9)	2 (1)
きたごう保育園	119	19(11)	3 (2)
すばしり保育園	98	19(12)	2 (1)
計	363	67(38)	9 (6)

保育士・調理員の数の()内は臨時職員数



●生涯学習●

町に住む人びとが、なかよく、明るく暮らすために、施設りようを利用していろいろな活動や勉強そうごうをしています。町では、総合文化会館、図書館、総合体育館、多目的広場たもくなどを管理して、みなさんの活動や勉強もよおをしやすいしています。また、みなさんが楽しんだり、勉強になるような催し物や教室を開いたりしています。

〔総合文化会館〕

町の文化活動の中心として、平成4年にできました。1,013席の大ホールのほか、多目的ホール、会議室、調理実習室、美術工芸室などがあります。平成24年度に利用した人は92,255人でした。

〔図書館〕

総合文化会館に併設され、105,540冊の本や232本のDVD・ビデオテープ、871枚のCDがあります。平成24年度に利用した人は24,852人で、62,427冊の貸し出しがありました。

〔総合体育館、小山球場、多目的広場、弓道場、小山道場〕

町のスポーツ活動の中心として、総合文化会館の近くにあります。総合体育館は平成8年にでき、アリーナではバレーやバスケットに利用され、トレーニング室、ジョギングコースなどがあります。小山球場、多目的広場、弓道場は平成6年にでき、小山球場は、780人の観客を収容できます。多目的広場は、400mトラックをとることができるグラウンドで、おもにサッカーや陸上などのスポーツに利用されています。弓道場は、弓道の練習や試合を行うことができます。小山道場は平成9年にでき、柔道などに利用されています。これらの総合体育施設を、平成24年度に利用した人は53,806人でした。

〔夜間照明施設〕

小山中学校・北郷中学校・須走小学校のグラウンドには、夜でもスポーツができる照明設備せつびがあります。おもに、大人の人たちが春から秋にかけて、野球やソフトボールで利用しています。

〔パークゴルフ場〕

パークゴルフ場は、平成15年に吉久保よしくぼにでき、町外からも多くの人が訪れます。平成24年度に利用した人は11,073人でした。

12 町のしくみと仕事 ▶▶▶▶

町のしくみ

●町長（執行機関）●

町長は町を代表する最高責任者で、町の仕事のまとめをしたり、国や県からまかされた仕事のまとめをしたりしています。

●職員（補助機関）●

職員は、町の仕事や国などからまかされた仕事をしています。平成26年3月1日現在、217人の職員が町のために働いています。町民およそ92人に1人の割合です。

●議会（議決機関）●

議会は町長から出された予算や町づくりの計画、町のきまり（条例）などの提案に意見をのべたり、町の仕事の方針を決めたりしていくところです。町民の代表である議員は平成26年3月1日現在12人（定数13人）です。

町の仕事

町はどんな仕事をしているのでしょうか。町の仕事については、つぎに出てくる「平成25年度の予算」をみると、だいたいわかりますが、ここではみなさんと町との関係について話をしてみましよう。

みなさんと町のつながりは、みなさんがお母さんのおなかの中にいたときからもう始まっています。

赤ちゃんが産まれるという届け（母子健康手帳の申請）を出して、じょうぶな赤ちゃんが産まれ育っていくためにお母さんと町とが協力します。

それから、乳幼児健診、予防注射、保育園、幼稚園、小学校、中学校、また道路、公園、山、川、田畑など、みなさんのまわりのものすべてが、町と深い関係にあります。

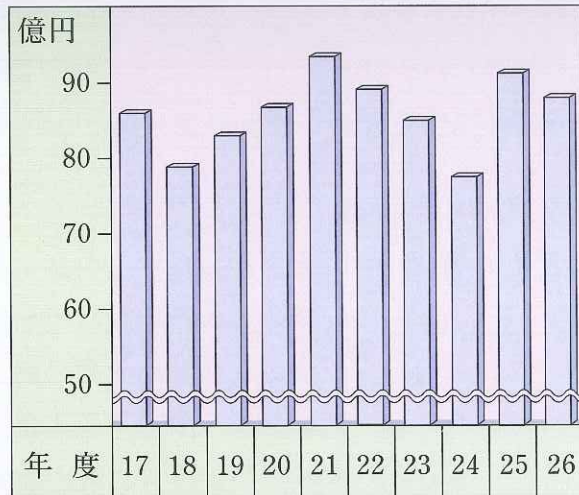
みなさんが明るく楽しく、安心してくらししていける町をつくること、それが町の仕事です。

13 予 算 ▶▶▶▶

町には、「^{しょうらい}将来小山町をこういう町にしたい」という計画があります。そして、この計画をもとに、道路を舗装するとこれくらいのお金がかかる、学校が古くなってきたから建て直しをしたいけれど、これくらいのお金がかかるなど、たくさんの計画にどのくらいのお金がかかるかという予算をたてます。この「予算」とは、1年間に行う仕事とお金をあらかじめ決めておくというものです。

平成26年度の^{かいけい}一般会計予算は、88億2,000万円で、平成25年度より3億円へっています。

とうしよ
当初予算のうつりかわり



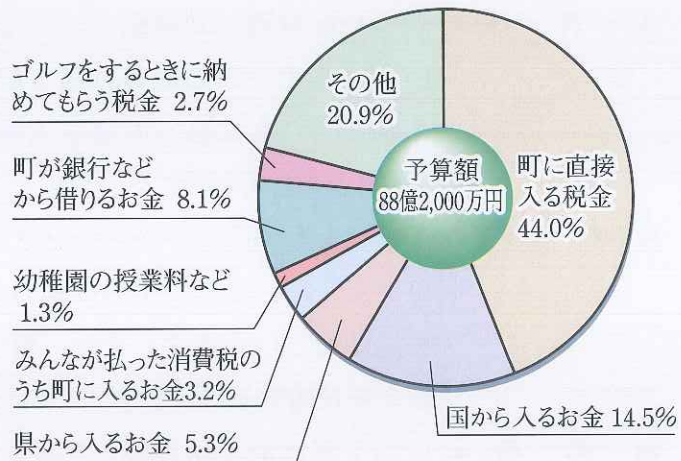
町に入るお金 (歳入)^{さい にゆう}

町に入るお金を「歳入」といいます。町に住んでいる人や、町にある工場などから出してもら^{ぜいじん}う税金を「町税」^{ちやうぜい}といっています。

この町税は、38億7,739万円で、歳入全体の44.0%です。

このほか、国や県から入^{こく こ しゆつぎん}るお金 (国庫支出金・県支出金・^{ち ほうしやうひ ぜいこう ふぎん}地方消費税交付金)、みなさんのお父さんなどがゴルフをするときに納めてもら^{ぜいじん}う税金 (ゴルフ場利用税交付金)、保育園や幼稚園の授業料 (使用料・手数料) など、いろいろな歳入があります。

歳 入



町が使うお金 (歳出)

町が使うお金のことを「歳出」といいます。歳出は、2つの見方があります。それは、性質別と目的別です。

性質別というのは、「町の道路や建物を作るために使うお金」、「職員や議員の給料など払うお金」など、どのようにお金を使うか区別したものです。

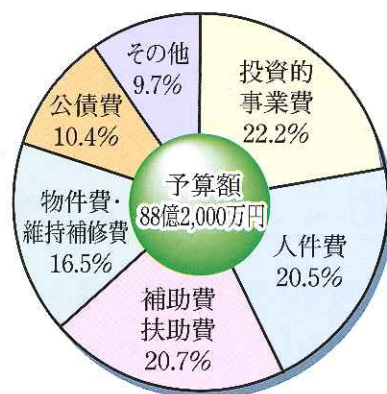
目的別というのは、「教育のために使うお金」、「福祉のために使うお金」、「産業を盛んにするために使うお金」など、何のために使うか区別したものです。

●性質別歳出●

投資的経費 = 町道を作ったり、改良したり、交通安全のための施設などを作ります。

また、保育園や幼稚園、学校をよくしたり、山や川を改良したりします。このように、町の建物などを作ったり、治したりすることに使うお金を投資的経費といいます。このお金は、19億5,418万9,000円です。

性質別歳出の内訳



人件費 = 役場や保育園・幼稚園・学校などで、たくさんの町の職員が働いています。この職員に払う給料や、議員など町の仕事をしてくれる人たちに払うお金を人件費といいます。このお金は、18億606万7,000円です。

扶助費、補助費 = みなさんが病院にかかったときなどにお金をたくさん払わなくていいように、また、生活に困っている人を助けることに使うお金を扶助費といいます。また、町に関係のある団体や会を援助するお金を補助費といいます。このお金は、18億2,706万2,000円です。

物件費、維持補修費 = 役場や保育園・幼稚園・学校などで仕事をするために必要な物を買うお金を物件費といい、建物を管理するために使うお金を維持補修費といいます。このお金は、14億5,599万1,000円です。

公債費 = 大きな建物などを作るときに、国や県、銀行などから借りたお金を「何回かに分けて返すお金」を公債費といいます。このお金は、9億1,950万6,000円です。

その他 = これら5つ以外のことに使うお金は、8億5,718万5,000円です。

●目的別歳出●

目的別歳出について見てみましょう。

議会費＝ 議会のために使うお金です。議員が勉強するためや会議に出てくるための給料などです。予算は9,494万6,000円です。

総務費＝ 町づくりや町の事務、その他選挙などに使うお金です。予算は、14億2,077万4,000円です。

民生費＝ 保育園や老人ホームでのお世話に使うお金や、生活に困った人を助けるお金、お年よりの病気のために使うお金など、みなさんが安心してらせるように使うお金です。予算は18億4,493万8,000円です。

衛生費＝ みなさんが病気にならないように予防接種をしたり、健康診断をしたりします。また、みなさんの家から出るごみをかたづけます。このように健康できれいな町にするために使うお金です。予算は8億3,878万4,000円です。

農林水産業費＝ 田んぼや畑から、たくさんのお米や野菜ができるように、農業用の道路や水路、田んぼなどを改良したり、林道の整備をしたりするために使うお金です。予算は3億1,003万5,000円です。

商工費＝ 商店や工場が栄えるように使うお金です。また、町にたくさんある観光地をさらによくし、みなさんがたくさん遊びに来てくれるように宣伝するために使うお金です。予算は2億2,329万6,000円です。

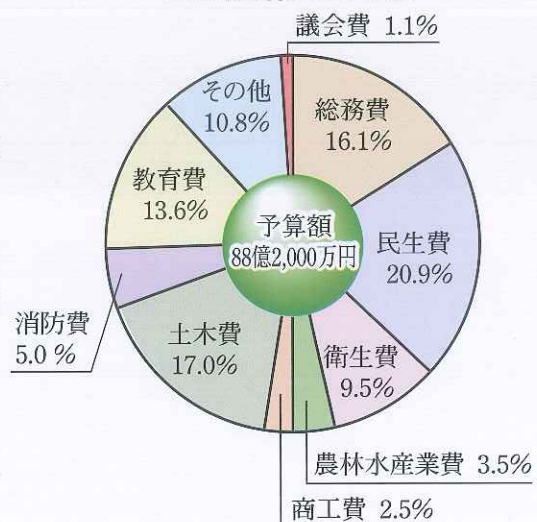
土木費＝ 町内の道路を作ったり舗装をしたりします。また川をよくし、災害から守ります。ガケやあぶないところを直したり、町営住宅を直したりするために使うお金です。予算は14億9,915万4,000円です。

消防費＝ 消防署・消防団の仕事や、火事が起きたときに使う消火栓や防火水槽をつくったり、地震が起きたとき、困らないように準備するために使うお金です。予算は4億3,647万7,000円です。

教育費＝ 小学校・中学校・幼稚園などの施設をよくしたり、勉強の道具を買ったりして、みなさんがよく勉強できるように使うお金です。予算は11億9,929万円です。

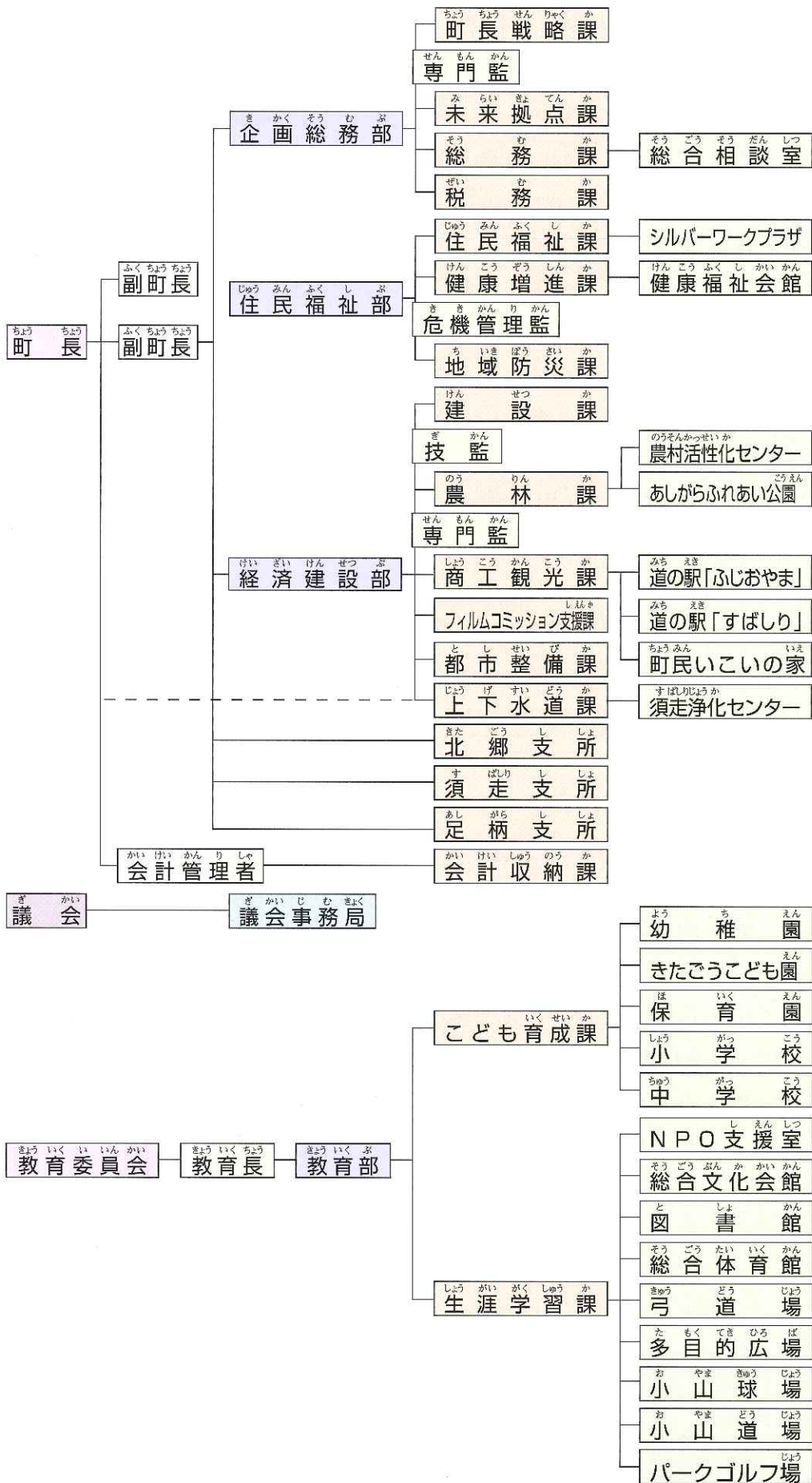
その他＝ これら9つ以外のことに使うお金は、9億5,230万6,000円です。

目的別歳出の内訳



町のしくみ

お やま ちょう ぎょう せい き こう ず 小山町行政機構図 (平成26年4月1日現在)





ちょうしょう

◎町章(町のマーク)

昭和45年1月1日に町章として決めました。
小山町の頭文字のOを基にして富士山と山に囲まれた緑の小山町をあらわして、力強さと団結、希望、勇気をあらわしています。

富士のあるまち

- ◎発行／平成26年3月
- ◎内容／町のようす
町のしごと
- ◎発行者／静岡県小山町
- ◎編集／町長戦略課
- ◎印刷／イワタオフィス

小山町民 憲章

(昭和57年12月5日制定)

- わたくしたちは、富士のもと
水と緑にめぐまれていふことに誇りほほをもち、
金太郎のように、健康で、明るい、
ゆたかな町づくりをすすめます。
- 一、めぐまれた自然を愛し、
美しいまちをつくります。
- 一、きまわりを守り、安全で、
住みよいまちをつくります。
- 一、のびゆく力を育て、
文化の薫りかほ高いまちをつくります。
- 一、働くことによるこびをもち、
健康なまちをつくります。
- 一、たがいに助け合い、親切しんせつで、
あたたかいまちをつくります。

町の木・花・鳥

(昭和57年8月1日制定)



木

ふじ桜

バラ科。木の高さは3~4mで、
まめ桜とも呼ばれています。
品種ひんしゅが多く、葉も小さくて若木わかぎ
でもよく花をつけるので、盆栽ぼんさい
に適しています。富士山麓ふじさんろくに多
く自生しています。



花

菜の花

アブラナ科。富士山の温かくきれいな伏流水ふくろすいで冬を越し、3~
4月に黄色い花を開きます。
開花する前の柔らかいとうは、
特産物水掛け菜みづかけな(漬物つけもの)として
全国的に有名です。



鳥

うぐいす

ヒタキ科・ウグイス亜科すずめ。雀すずめより
やや小さい鳥はるつげどりで春告鳥とも呼
ばれています。「法々華経ほうぼうけきょう」と
鳴き古来から親しまれています。
富士山麓、特に須走に多く生息
しています。